# 男子港川初V

## 県中学秋季ハンド 女子は仲西制す

ハンドボールの八重瀬町長杯争奪第32回県中学校秋季大会は最終日の15日、同町東風平運動公園体育館で決勝までを行い、男子は港川が25―22で神森を破って初優勝、女子は仲西が20―9で松島に勝ち、2年ぶり7度目の優勝を果たした。

【男子】

▽準決勝

港川 29（21―8、8―12）20 浦西

神森 25（10―6、15―13）19 具志川

▽決勝

港川 25（13―14、12―8）22 神森

▽3位決定戦

具志川 28（13―14、15―12）26 浦西

【女子】

▽準決勝

仲西 16（7―8、9―6）14 美東

松島 17（9―6、8―9）15 神森

▽3位決定戦

美東 23（11―15、10―6、延長2―1）22 神森

▽決勝

仲西 20（10―5、10―4）9 松島

男子決勝 港川―神森 ディフェンスを割ってシュートに持ち込む港川の三輪将太郎＝15日、八重瀬町東風平運動公園体育館（花城太撮影）

## 堅守からリズム

### 男子・港川

### 最大6点差を逆転

○…男子決勝、前回の覇者・神森に序盤からリードを許した港川は、前半に最大6点差まで差を広げられた。しかし、5連続得点で1点差まで詰め寄って折り返し、後半に逆転して接戦を制した。

攻守に活躍したのは、上の位置を守る三輪将太郎、比嘉盛秀、安里一希の3人。序盤は積極的に前に出て高めの位置で守ったが、隙を突かれたため、パターンを変更。ラインを下げて守りを固め、そこからリズムをつくった。足を使っての速攻などで得点を重ね、ポストプレーも生きた。

チームの要の三輪主将は、「これまで勝てなかったので、リベンジしたいという気持ちが強かった。うれしい」と喜び、「これからもディフェンスからの速攻を徹底し、どんな場面でも点を取れるようにしたい」と話した。

## 大差勝ちもミスを反省

### 女子・仲西

○…女子の仲西は、終始優勢に決勝の試合を進め、大差で勝利。しかし、仲西萌夏主将は「ミスが多かった。指示が通らなかった」と、まず反省を口にした。

3月には全国3位になったが、秋季大会はメンバーを一新してのデビュー戦だった。

仲西主将は「大会に向けたチームづくりは少ししかできなかったが、チームワークで盛り上げていった。その積み重ねが点数になった」と新チームに手応えも感じた様子。

上里卓也監督は「声を出すことと、基本だけをやってきた。優勝したが、細かいミスが多かった。課題が見つかり、次につながる大会になった」と話した。

女子決勝 仲西―松島 シュートを放つ、仲西の仲西萌夏（2番）